

地域課題解決に向けた取り組み実施の進捗状況

※ 下線部_____が進捗状況

1. 目的

本委員会において従前から地域課題としている、「就労支援」及び「相談支援体制の充実・強化」の推進にあたっては、令和2年度から新たな地域課題に加えた、「障がい（児）者と地域住民の相互理解」が不可欠であることから、これらの課題解決に向けた取り組みの一環として、地域住民及び企業等関係者を対象とした、障がいのある人に対する理解促進・広報啓発に係る各種取り組みを実施する。

2. 取り組み実施の進捗状況

（1）就労系福祉サービス事業所による授産製品販売及び受注業務のPR等

地域住民及び企業を対象とし、就労系福祉サービス事業所の授産製品の販売、展示や受注業務PRを行うことで、障がいのある人に対する理解促進及び事業所の販路拡大につなげる。

会 場：稚内総合文化センター小ホール

※令和3年11月15日～令和4年7月31日まで改修のため休館

開 催 日：会場を使用できる日

開催時間：未定。準備～撤収まで1日で完了できる日程とする。

当初は令和3年度中に実施予定だったが、就労支援B型事業所に参加の意向等を確認した結果、参加する、参加を検討する事業所が一部に限られていたため、令和4年度に延期することとした。

（2）就労支援B型事業所を対象とした授産製品販売及び受注業務等のPRイベントに係る調査

（1）の取り組みの企画の参考とするため、就労支援B型事業所を対象として、参加の意向等を令和3年5月に調査した。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加する、参加を検討すると回答したのは全11事業所中4事業所にとどまった。

参加しないとの回答だった事業所の一部は、新型コロナウイルス感染症が収束したら参加を検討する、時期や開催日によっては参加できるとのことだった。

（3）他の団体等が開催するイベントにおける啓発事業の実施

他の団体等が開催するイベントで、障がい者福祉に係る啓発を実施する。併せて地域づくり委員会のPRも行う。

地域住民に向けた啓発のほか、障がい者本人と家族を対象とする広報・啓発も検討する。 例：地域づくり委員会の広報、心身障害者扶養共済制度の広報

稚内市と共催で、令和4年(2022年)3月30日(水)～4月8日(金)に、稚内市みどりスポーツパークにおいてパネル展を開催予定。

(4) 障がいに関する書籍の紹介

事務局が各市町村の図書館を訪問し、障がい者理解促進図書フェアの開催を働きかける。時期は特に定めず通年とする。

対象図書の一例として、障がい理解促進関連図書一覧を提示する。

市町村別の実施状況

① 稚内市

令和3年(2021年)11月26日(金)～12月17日(金)に、「障がい」についての理解促進をテーマとした図書展を実施した。(資料1-2参照)

同期間内に、北海道福祉のまちづくりパネル展(11月26日～12月3日)及び発達障がいについて理解促進を図るパネル展示(12月14日～24日)を併せて実施した。(資料1-3参照)

② 猿払村

教育委員会経由で図書館に図書フェア開催を依頼した。図書館ではフェア開催を検討中。

③ その他の町

今後各図書館に依頼予定。

(5) ホームページによる就労継続支援事業所の製品の紹介

新型コロナウイルス感染症の影響で(1)の住民等と直接対面するイベント開催が難しいため、ホームページによる広報を行うこととした。

令和4年(2022年)2月にホームページ(資料1-4参照)を公開。

(6) 各種取り組みのPR

取り組みについて、実施前に原則として報道発表するとともに、関係事業者、市町村を通じて広くPRする。

また、委員会ホームページ及び宗谷総合振興局のSNSを利用し広報を行う。

(4) ①稚内市の図書展、北海道福祉のまちづくりパネル展及び発達障がいについて理解促進を図るパネル展示の実施前に、報道機関に資料提供を行った。

(5) ホームページ公開後、報道機関に資料提供。

(3) 稚内市と共催のパネル展開催について報道機関に資料提供予定。